

極薄物質で本当に良いセンサーができるのか？

ナノチューブ・二次元材料を用いた 分子センシングの現状と課題

2025年3月16日(日) 13:30 ~ 17:30 (予定)
東京理科大学 野田キャンパス + オンライン (ハイブリッド)

原子レベルで薄い構造体であるナノチューブや二次元材料は、表面对体積比の高さから高感度センサーへの応用が期待されています。しかし、支持基板表面からの擾乱など、極薄であるがゆえの悪影響も同時に懸念されます。ナノチューブ・二次元材料を用いた分子センサーに関して、長所・短所をざっくりばらんに議論します。

招待講演者 (敬称略、五十音順)

稲葉 優文 (九大)

内田 建 (東大)

高橋 一浩 (豊橋技科大)

田畑 博史 (阪大)

前橋 兼三 (東京農工大)

※一般講演も募集します。

講演テーマの一例

カーボンナノチューブ、金属ナノシート、遷移金属カルコゲナイド、グラフェン、遷移金属酸化物、トランジスタ、NEMS、化学修飾、分子吸着、表面反応、など。

世話人：野内 亮 (大阪公立大)、守谷 頼 (東大)